

■2023年度 事業計画

2023年度 事業計画の報告

【2023年度 事業計画】

イベント業界の現状

イベント業界もかつての日常を取り戻しつつあるが、ハイブリッド化・サステナビリティ化など、イベント業界もこれまでにないスタイルへと変化してきている。一方、イベントの持つライブ感と一期一会の特性は決して失われることはなく、逆にこれまでにない新しい魅力を見つけ出すチャンスと捉えることも可能である。

JACE の現状と課題

- ・昨年度オンライン化によって「資格・検定事業」の飛躍的発展の可能性が広がった。一方、資格制度自体の認知がなかなか伸びないという大きな課題もある。昨今のイベント環境の変化に合わせてテキストの改訂を実施する時期にも来ており、「人材育成委員会」を中心に改訂を検討中。
- ・現在、会員社からの応募が中心となっているアワード事業についてより広範囲に応募を広げるために、10回目を迎えるイベントアワードに関し、節目として内容の更なる進化とアワード自体の認知拡大を目指していく。上記を達成するため「アワード部会」を中心に改善を進める。
- ・JACE そのものの認知が依然として高いとは言えないので、各委員会・部会のメンバーが種々の施策の立案・推進を主導する体制を構築し、JACE の認知拡大とイベント業界全体の振興を図る。

■ 2023年度の活動方針

1. イベント業界のアクティベーターとして、さらなる発展を牽引していく
2. イベント業界の更なる発展のための JACE の認知拡大
3. 資格試験制度の認知度及び受験者数アップとテキスト改訂
4. イベント業界の次世代を担う若手人材の育成
5. JACE 活性化に向けて会員会社と事務局の連携強化

■ 2023年度方針

1. イベント業界のアクティベーターとして、さらなる発展を牽引していく

イベント業界において避けることができないイベントのサステナビリティ化について、日本の業界団体の先頭を切り、会員会社の協力を仰ぎつつ、「サステナビリティ・ガイドラインの策定」と「ISO20121 改訂作業」を進める。

<アクションプラン>

◎サステナビリティ委員会の活動について（委員会を6回開催予定）

ガイドラインの策定および検証作業をスタートに、イベント・サステナビリティ事例の収集と発表及び格納、啓発ウェビナーの実施や会員社向けアンケートを昨年に続き実施する。

◎大阪関西万博協会・大阪観光局と連携しガイドライン策定を推進

日本コンベンション協会、日本展示会協会、日本ディスプレイ業団体連合会等の各種イベント団体も含めてコンソーシアムを結成し、万博後も業界横断的に使用可能な「使い勝手の良いガイドライン」を作成する。

◎ISO20121 国内審議委員会事務局として改訂作業を推進

十数年ぶりに改訂する「ISO20121」に関し、JACEとして日本の国内審議団体を引き受けることが日本産業標準調査会より承認。委員長以下のメンバーを決定し、委員会を招集する。国際会議に向けて日本の意見をまとめ、事務局として中心的な役割を果たしていくため、(株)セレスポより国内審議委員会事務局担当要員として、中島氏が出向(2023年4月～)。

2. イベント業界の更なる発展のための JACE の認知拡大

「JACE イベントアワード」の更なる価値向上を目指すことで、イベント業界の裾野を広げ、企業・団体などの JACE への参画意欲拡大を図る。また、HP のアクティブ化、他団体との連携強化により、JACE の地位向上を図る。

<アクションプラン>

◎「JACE イベントアワード」

部会メンバーを中心に認知拡大施策を検討し、全国の自治体やイベント関係者への周知を図る。また、受賞関連のセミナー開催、HP での紹介等により、幅広く情報発信を行う。エントリーシートの再考⇒簡素化し応募のハードルを下げることでエントリー数の拡大を図る。

◎ホームページのアクティブ化

委員会・部会情報、ウェビナーなど会員向け情報を積極的に発信する。東京都や東京観光財団など JACE が参加している協会情報を発信する。イベント消費規模推計調査・イベント産業規模推計調査等、各種報告書を発信する。

◎他業界団体との連携強化

日本コンベンション協会 (JCMA) とサステナビリティ・ウェビナーの乗り入れや、イベント学会とのイベント情報の乗り入れ等を実施する。

3. 資格試験制度の認知度及び受験者数アップとテキスト改訂

経済産業省後援事業を取得したことによるメリットの最大化とオンライン化による受験機会拡大を徹底的に PR することで受験者増を図る。また、社会の変化に伴うテキストの改訂を行う。

<アクションプラン>

◎オンライン試験のメリットのアピールと賛助校の拡大を図る

「経済産業省後援事業」の表記を印刷物、HPで展開することで信頼度の醸成を図るとともに、定期的ニュースメール配信（月2回程度）やHPでの各種手続きのユーザビリティをアップさせる。また、リーチ拡大を目的として検定サイトタイアップ記事広告展開の検討やスポーツ系専門学校のリスト化とDM配信およびアウトバウンド展開を検討する。

◎昨年度全面改訂した「スポーツイベント検定」以外のテキスト改版着手

イベントの定義見直しと新しいコンテンツの追加（サステナビリティ、TOKYO2020、ハイブリッドなど）を前提に全面改版作業に着手する。まず初めに「イベント業務管理士（2019年）」の全面改版を行い、それをベースとした基本編の「イベント検定（2015年）」に着手する。2024年度中の改訂を目指す。それに伴う試験問題の再作成や認定校への案内準備を行う。

◎資格価値の向上

定期的なスキルアップセミナーの実施（交流部会と連携）や1級合格者のお祝い会開催の検討、自治体入札時の加点材料としてのアプローチの検討を行う。

◎受験者データ活用による受験者掘り起し

2級資格取得者へのメール配信や地域受験者の掘り起し（JEDIS各地域本部の活用）を行う。

◎『Team EXPO 2025』プログラム参画で「ユニバーサルイベント」の認知拡大と浸透を図る

ユニバーサルイベント動画を作成し、【共創チャレンジ】に参加している企業への活用を促す。また、国際博覧会協会や博覧会担当局キーマン、人材育成委員会メンバーの人脈などを活用し、協会スタッフ、パビリオンスタッフ、ボランティアなど関係者への必須ツールとしてプロモートを行う。

2023年度資格検定スケジュール

| | イベント業務管理士 | | 3つのイベント検定 | | |
|--------|---------------------------|----|-------------|----------------|------------------|
| | 1級 | 2級 | イベント検定 | スポーツ イベント検定 | ユニバーサル イベント検定 |
| セミナー申込 | 11/16～2024/1/26 | | 前期 5/8～7/28 | 後期 9/1～11/27 | |
| セミナー実施 | 11/16～2024/1/26 | | 前期 5/8～7/31 | 後期 9/1～11/30 | |
| 試験申込 | 11/16～2024/1/17 | | 前期 5/8～7/28 | 後期 9/1～11/27 | |
| 試験実施 | 2024/1/20,21,26, 27,28 | | 前期 7/1～7/31 | 後期 11/1～11/30 | |

4. イベント業界の次世代を担う若手人材の育成

慢性的に人材不足に悩むイベント業界のため、将来の中核を担うべき、若い人材を集め、育てるためのプログラムを用意する。

<アクションプラン>

◎「若手交流会」の活性化

『Jace Future Lab (JFL)』の四半期ごとの開催を定例化（年4回）し、将来的には若手主体の運営の移行を目指す。

4月開催は、「実際に、eスポーツをやってみよう！」@ RED TOKYO TOWER

最先端の「eスポーツ」施設を体験・その可能性・活用方法等についてのディスカッション及び懇親会を実施する。

◎「ビジネスマッチング情報交換会」を通じての会員社間の連携強化

オンラインシステム（zoom ブレイクアウトルーム）を利用し、1対1の商談機会をつくる。JACE入会のメリット醸成と新規入会希望法人増を目指す。

5. JACE 活性化に向けて会員会社と事務局の連携強化

「JACEに入って良かった」と会員各社が思えるように、会員各社と積極的なコミュニケーションを取り、ニーズを把握し、会員各社のビジネスにも役立つ情報発信・機会の創出を狙ったプログラムを用意する。また、HPをよりアクティブに運用して、様々な情報発信を実行しJACEのプレゼンスを向上させていく。

<アクションプラン>

◎会員メリット強化

総務委員会の機能を活性化し、JACE課題の解決策を議論する委員会とすることを目指す。

◎委員会・部会のメンバーを通じて、JACE年間企画の推進への協力を仰ぐ

委員会・部会について、委員長以下、メンバーがより主体的に動けるよう、事務局のサポート体制を強化し、将来的には各委員会・部会が中心となって、各種事業の推進が行えるよう進化させる。

◎『入って良かったJACE』に向けてのアイデアの創出協力

多様なJACEの会員社において、会員各社のニーズも様々であるため、交流部会とも連携を取りつつ、JACEの魅力度を上げるようなアイデアを各委員会や部会を通じて広く募る。また、各委員会・部会の活動については、HPを活用し、積極的にPRする。

■ 2023年度各委員会・部会メンバー

① 総務委員会

| 役割 | 氏名 | 会員社名 | 部署名/役職名 (2023年4月1日時点) |
|------|--------|-------------------|--|
| 委員長 | 舩森 丈人 | (株)テー・オー・ダブリュー | 取締役 兼 執行役員 管理本部長 |
| 副委員長 | 田口 政幸 | (株)ムラヤマ | スペースプロモーショングループ 執行役員 |
| 委員 | 田所 義教 | (株)ADK クリエイティブ・ワン | 総合プロデュース第3センター センター長 |
| 委員 | 佐々木 淳 | (株)ジェイアール東日本企画 | 企画制作本部 エクスペリエンシャル・プロモーション局 次長 |
| 委員 | 齋藤 友輔 | (株)JTB | ビジネスソリューション事業本部 事業推進チーム 事業推進担当部長 |
| 委員 | 松田 英彦 | (株)セレスポ | 取締役 事業本部副本部長 事業支援部部長 |
| 委員 | 渡里 大介 | 大日本印刷(株) | 情報イノベーション事業部 DXセンター ハイブリッドマーケティング本部 本部長 |
| 委員 | 稲場 幸家 | (株)丹青社 | コミュニケーションスペース事業部 副事業部長 |
| 委員 | 石阪 太郎 | (株)電通ライブ | 執行役員 |
| 委員 | 高橋 武久 | (株)東急エージェンシー | マーケティング DX 本部 アクティベーション デザイン局 局長 |
| 委員 | 佐藤 秀樹 | (株)乃村工藝社 | 営業推進本部 第二事業部 事業部長 |
| 委員 | 藤本 真理子 | (株)博報堂 | MDX 戦略局アセットマネジメント部 部長 |
| 委員 | 長田 芳暁 | (株)博報堂プロダクツ | 執行役員 イベント・スペースプロモーション 事業本部 本部長 |
| 委員 | 塩川 学 | (株)マッシュ | 執行役員 |

*JACE 事務局担当：尼子、千種

② 人材育成委員会

| 役割 | 氏名 | 会社名 | 部署名/役職名 (2023年4月1日時点) |
|-----|-------|----------------|-------------------------------|
| 委員長 | 長田 芳暁 | (株)博報堂プロダクツ | 執行役員 イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長 |
| 委員 | 小坂井 彰 | 五大陸(株) | 代表取締役 |
| 委員 | 間藤 芳樹 | (株)マッシュ | 代表取締役 |
| 委員 | 内山 早苗 | (株)UD ジャパン | 代表取締役 |
| 委員 | 内宮 真一 | (株)スポーツマネージメント | 代表取締役 |
| 委員 | 酒井 基喜 | (株)マッシュ | |
| 委員 | 越川 延明 | (株)セレスポ | 執行役員 人事総務部長 広報室長 |
| 委員 | 綿木 啓了 | (株)ディー・エヌ・エー | プロジェクトマネージャー |
| 委員 | 磯部 陽一 | (株)レイ | コミュニケーションデザイン事業本部本部長 |

*JACE 事務局担当：石山、田邊

③ アワード部会

| 役割 | 氏名 | 会社名 | 部署名/役職名 (2023年4月1日時点) |
|--------|-------|----------------------|--|
| 部会長 | 石阪 太郎 | (株)電通ライブ | 執行役員 |
| アドバイザー | 宮本 倫明 | (株)Landa | 代表取締役 |
| メンバー | 田所 義教 | (株)ADK クリエイティブ・ワン | 総合プロデュース第3センター センター長 |
| メンバー | 佐々木 淳 | (株)ジェイアール東日本企画 | 企画制作本部 エクスペリエンシャル・プロモーション局 次長 |
| メンバー | 齋藤 友輔 | (株)JTB | ビジネスソリューション事業本部 事業推進チーム 事業推進担当部長 |
| メンバー | 原田 伸介 | (株)新東通信 | クリエイティブ本部 JPM 事業グループ グループ長 |
| メンバー | 松田 英彦 | (株)セレスポ | 取締役 事業本部副本部長 事業支援部部長 |
| メンバー | 越川 延明 | (株)セレスポ | 執行役員 総務部長 広報室長 |
| メンバー | 渡里 大介 | 大日本印刷(株) | 情報イノベーション事業部 DXセンター ハイブリッドマーケティング本部 本部長 |
| メンバー | 稲場 幸家 | (株)丹青社 | コミュニケーションスペース事業部 副事業部長 |
| メンバー | 舩森 丈人 | (株)テー・オー・ダブリュー | 取締役 兼 執行役員 管理本部長 |
| メンバー | 高橋 武久 | (株)東急エージェンシー | マーケティング DX 本部 アクティベーションデザイン局 局長 |
| メンバー | 代 友昭 | 凸版印刷(株) | 情報コミュニケーション事業本部 ソーシャルイノベーションセンター 企画開発本部 第二部 部長 |
| メンバー | 小坂井 彰 | 日本イベント業務管理士協会(JEDIS) | 副会長 |

| | | | |
|------|--------|-------------|-------------------------------|
| メンバー | 佐藤 秀樹 | (株)乃村工藝社 | 営業推進本部 第二事業部 事業部長 |
| メンバー | 藤本 真理子 | (株)博報堂 | MDX 戦略局アセットマネジメント部 部長 |
| メンバー | 長田 芳暁 | (株)博報堂プロダクツ | 執行役員 イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長 |
| メンバー | 間藤 寛太 | (株)マッシュ | コミュニケーションデザイン室長 |
| メンバー | 田口 政幸 | (株)ムラヤマ | スペースプロモーショングループ 執行役員 |
| メンバー | 内山 早苗 | (株)UD ジャパン | 代表取締役 |

*JACE 事務局担当：尼子、(沖)

④ サステナビリティ委員会

| 役割 | 氏名 | 会社名 | 部署名/役職名 (2023年4月1日時点) |
|------|-------|--------------------------|--|
| 委員長 | 越川 延明 | (株)セレスポ | 執行役員人事総務部長広報室長 |
| 副委員長 | 羽山 寛幸 | (株)昭栄美術 | 専務取締役 |
| 副委員長 | 松本 秀之 | (株)フロンティア インターナショナル | 第3営業本部 本部長 |
| 委員 | 板山 智昭 | コーユレンティア(株) | イベント営業部 係長 |
| 委員 | 宮口 真 | (株)電通 | CX プランニング・センター ライフエクスペリエンスデザイン部長 |
| 委員 | 松原 努 | 日本コンベンション サービス(株) | 営業・マーケティング戦略部 グローバル・ゴール推進リーダー |
| 委員 | 森下 慎一 | (株)東急エージェンシー | マーケティング DX 本部 アクティベーションデザイン部 第1アクティベーション部 部長 プランニングディレクター |
| 委員 | 生形 善彦 | 凸版印刷(株) | 情報コミュニケーション事業本部 ソーシャルイノベーションセンター 企画開発本部2部2チーム |
| 委員 | 菅谷 遼 | (株)乃村工藝社 | ビジネスプロデュース本部 未来創造研究所 ソーシャルグッド R&D ユニット サステナブルデザインユニット リーダー |
| 委員 | 福傳 弘二 | TSP 太陽(株) | 事業統括本部 技術本部 施工監理部 副部長 |
| 委員 | 白川 陽一 | (株)博展 | サステナブル・ブランド事業部長 兼 サステナビリティ推進部長 |
| 委員 | 石毛 照栄 | (株)JTB コミュニケー ションデザイン | 総合企画部 サステナビリティ推進局 リーダー |
| 委員 | 大高 良和 | (株)電通ライブ | ソリューションユニット スペースデザインファクトリー リード スペースソリューション部長 |

*JACE 事務局担当者：尼子、千種

⑤ 交流部会

| 役割 | 氏名 | 会社名 | 部署名／役職名（2023年4月1日時点） |
|------|-------|--------------|-----------------------|
| 部会長 | 松崎 満 | (株)小林工芸社 | 取締役 第1アカウント部 ディレクター |
| メンバー | 鶴間 敏治 | (株)クラフティ | 取締役 事業開発部 部長 |
| メンバー | 本間 澄江 | (株)サピエント | 執行役員 |
| メンバー | 永門 優作 | (株)ジールアソシエイツ | 取締役 営業推進本部 本部長 |
| メンバー | 丸山 尚人 | (株)ディー・エヌ・エー | プロモーション3部 丸山ルーム ルーム長 |
| メンバー | 池本 竜 | PRG(株) | 営業部 ディレクター／部長 |
| メンバー | 木白 豊 | (株)レンタルのニッケン | 営業企画部 イベントチーム チームリーダー |
| メンバー | 中原 康哉 | (株)ワールドカラー | 取締役 事業統括本部 |

*JACE 事務局担当：千種、尼子

以上